

にいぜろにいご  
「食支援フォーラム in 庄内2025」  
庄内地域で活躍する食支援団体の紹介

**南庄内・たべるを支援し隊**

代表 <sup>たぐち まこと</sup> 田口 充（鶴岡協立リハビリテーション病院 言語聴覚士）

平成29年度から、南庄内地域において、在宅や施設入所者に対する栄養サポートチーム（地域一体型NST※）による支援のほか、関係職種や市民向けの研修会の開催などを行っている。

※地域一体型NSTとは

地域において、多職種（医師、歯科医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等）で構成された栄養サポートチーム（Nutrition Support Team：ニュートリションサポートチーム）が、患者に最適な栄養管理を提供するもの。

**北庄内食援隊**

隊長 <sup>おおぬま ひろし</sup> 大沼 寛（酒田地区歯科医師会 大沼歯科医院 歯科医師）

令和2年度に結成され、令和4年度から本格的な取組みを開始。嚥下食に関する調理実習や市民向けの研修会のほか、多職種で食事場を視察し、摂取状況から咀嚼能力・口腔機能・嚥下機能の評価を行い必要な支援に繋げている。令和5年度からは、「やわらかふえ Come×Come（カムカム）」という嚥下食の試食会とフレイル予防の情報提供を行うなど、多職種連携で食支援を行っている。

令和6年度には、酒田のラーメンを考える会と「やわとろ酒田のラーメン」（嚥下ラーメン）を共同開発した。

**鶴岡食材を使った嚥下食を考える研究会**

事務局 <sup>せお りかこ</sup> 瀬尾 利加子（（株）瀬尾医療連携事務所）

鶴岡市内の宿泊施設や医療関係者などで構成。“鶴岡で食事をするすべての人たちが、おいしい食事ができ楽しく暮らせること”を目指し、鶴岡の豊かな食材を使い、飲食店と一緒に「嚥下しやすい食事形態で外食を提供すること」を目標に、医療福祉施設や飲食店など多職種で連携を図りながら活動している。

**過去の食支援フォーラムの展示コーナーの様子**



嚥下機能に配慮した食品や素材などを扱うメーカー等から、ポスター展示やリーフレット等で情報提供いただいたほか、地域の大学等からポスターによる研究発表をしていただきました。今年度も同様のコーナーを設ける予定です。